

兵庫県健康づくり推進実施計画(第3次)

－ 目標指標・モニタリング指標一覧 －

R7.1月時点での進捗について

現状値の欄に※印がある項目は、計画策定時の数値と調査方法・出典が異なります。

	進捗把握 項目数	改善	変化なし※	悪化
目標項目	40	23	3	14
(割合)		57.5%	7.5%	35.0%
モニタリング指標	23	12	6	5
(割合)		52.2%	26.1%	21.7%

※ 変化なしには、計画策定時には未把握であった指標のうち、今回新たに把握できたものも含まれます。

(目標項目：0、モニタリング指標：2)

目標数一覧表

分野	小見出し	指標	項目	うち再掲	モニタリング指標
主な目標	主目標	2	4	0	0
生活習慣病予防等の健康づくり	(1)主体的な健康づくりに向けた健康意識の向上	16	25	0	2
	(2)栄養・食生活の改善	9	11	0	3
	(3)身体活動(運動・生活活動)の増加	3	4	0	0
	(4)たばこ(受動喫煙)対策の推進	4	10	0	0
	(5)次世代への健康づくり支援	6	10	0	4
	(6)高齢者の健康づくり支援	6	6	1	2
	(7)感染症その他の疾病予防	4	6	4	1
歯及び口腔の健康づくり	(1)総合的な推進	1	1	0	1
	(2)次世代への支援	1	1	0	3
	(3)青年期・成人期の取組	2	3	1	1
	(4)高齢期の取組	1	1	0	2
	(5)配慮を要する者への支援	2	2	0	2
	(6)歯及び口腔の健康づくりの推進に向けた体制の整備	0	0	0	3
こころの健康づくり	(1)ライフステージに対応した取組	8	11	2	2
	(2)認知症施策の推進	1	1	0	2
	(3)精神障害者への支援	0	0	0	2
健康危機事案への対応	(1)災害時における健康確保対策	0	0	0	2
	(2)食中毒の発生予防・拡大防止	0	0	0	3
	(3)感染症の発生予防・拡大防止	0	0	1	1
合計		66	96	9	36
(参考)健康日本21 第3次		65			

基本目標

(1) 健康寿命の延伸

- 6ヶ年で0.75歳の延伸を目指す

目標指標		策定時(R2)	現状(R4)	目標(R8)
健康寿命(平均自立期間)の延伸	男性	80.41歳	80.33歳	81.16歳
	女性	84.93歳	84.80歳	85.68歳

※国の健康寿命延伸プランにおいて、2016年～2040年の24力年で3歳の健康寿命延伸を掲げていることから、当計画の計画期間(6力年)で換算し、0.75歳の延伸を目標としている。

※本計画における健康寿命は「日常生活動作が自立している期間の平均」を指す。厚労省の算定の指針に基づき、介護保険の要介護度2以上を「不健康」とし、兵庫県健康増進課にて算出している。

(2) 二次医療圏域間における健康寿命の差の縮小

- 圏域間格差の縮小を目指す

目標指標		策定時(R2)	現状	目標(R8)
2次保健医療圏域間の健康寿命の差の縮小	男性	1.92歳	R8年値が R10判明	減少
	女性	1.31歳		減少

分野別取組 1 生活習慣病予防等の健康づくり

1 主体的な健康づくりに向けた健康意識の向上

目標指標		策定時	現状	目標
①健康無関心層の減少		9.2%(R3)	R10調査	減少(R10)
②心疾患の年齢調整死亡率の減少	男性	188.4(R2)	R10判明	減少(R7)
	女性	112.1(R2)	R10判明	減少(R7)
③脳血管疾患の年齢調整死亡率の減少	男性	88.7(R2)	R10判明	減少(R7)
	女性	51.4(R2)	R10判明	減少(R7)
④特定健診の受診率の向上		52.7%(R3)	54.3%(R4)	60%(R9)
⑤特定保健指導の実施率の向上		22.7%(R3)	23.9%(R4)	30%(R9)
⑥メタボリックシンドローム該当者割合の減少		15.8%(R3)	15.7%(R4)	12%(R9)
⑦メタボリックシンドローム予備群割合の減少		12.4%(R3)	12.2%(R4)	9%(R9)
⑧収縮期血圧130mmHg以上の者の減少	男性	39.5%(R1)	41.0%(R3)	減少(R7)
	女性	29.0%(R1)	31.1%(R3)	減少(R7)
⑨HbA1C 8.0%以上の者の減少	男性	1.85%(R1)	1.85%(R3)	1.5%(R7)
	女性	0.66%(R1)	0.65%(R3)	0.5%(R7)
⑩糖尿病合併症の減少(糖尿病性腎症新規透析導入患者の減少)		614人(R3)	582人(R3)	550人(R8)

分野別取組 1 生活習慣病予防等の健康づくり

1 主体的な健康づくりに向けた健康意識の向上

目標指標		策定時	現状	目標
⑪糖尿病の治療を継続している人の増加		68.5%(R3)	R10調査	75%(R10)
⑫生活習慣病のリスクを高める量を飲酒をしている人の減少		11.0%(R3)	R10調査	10%(R10)
⑬健康づくりチャレンジ企業登録数の増加		2163社(R4)	2269社(R5)	2,700社(R10)
⑭がん年齢調整死亡率が全国値より低い状態の達成		64.7(R4)	62.3(R5)	全国平均より5%以上低い状態
⑮がん検診受診率の増加	胃がん	43.0%(R4)	R8公表	60%(R10)
	肺がん	44.2%(R4)	R8公表	60%(R10)
	大腸がん	43.2%(R4)	R8公表	60%(R10)
	子宮頸がん	38.9%(R4)	R8公表	60%(R10)
	乳がん	42.8%(R4)	R8公表	60%(R10)
⑯脂質高値(LDLコレステロール160mg/dl以上)の者の減少	男性	12.8%(R1)	13.3%(R3)	9.6%(R7)
	女性	13.9%(R1)	14.4%(R3)	10.5%(R7)

モニタリング指標	策定時	現状
①かかりつけ医をもつ人	69.7%(R3)	R10調査
②かかりつけ薬剤師・薬局を持つ人	35.3%(R3)	R10調査

分野別取組 1 生活習慣病予防等の健康づくり

2 栄養・食生活の改善

目標指標		策定時	現状	目標
①1日あたりの食塩摂取量の減少(中央値)		9.8g(R3)	R8以降調査	7g(R10)
②1日あたりの野菜摂取量の増加(中央値)		303.5g (R3)	R8以降調査	350g (R10)
③果物摂取量100g未満の人の割合の減少 (年齢調整値)		52.0% (R3)	R8以降調査	40% (R10)
④朝食を食べる人の割合の増加(20代)	男性	47.0% (R3)	54.7% (R5) ^{※1}	82%以上 (R8)
	女性	64.9% (R3)	56.2% (R5) ^{※1}	84%以上 (R10)
⑤主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上、 ほぼ毎日食べている人の割合の増加(年齢調整値)		37.5% (R3)	87.1% (R5) ^{※2}	75%以上 (R10)

※1 ひょうごの豊かさ指標 県民意識調査より算出

※2 食育セルフチェックより算出

分野別取組 1 生活習慣病予防等の健康づくり

2 栄養・食生活の改善

目標指標		策定時	現状	目標
⑥毎日、家族や友人と楽しく食事をする人の割合の増加 (年齢調整値)		71.1% (R3)	92.6% (R5) ^{※1}	75%以上 (R8)
⑦適正体重 ^{※2} を維持している人の割合 の増加(20～60代の男性の肥満、女性のやせの減少)	男性	31.5%(R3)	R8以降調査	30%(R10)
	女性	10.4%(R3)	R8以降調査	9%(R10)
⑧低栄養傾向(BMI20以下)の高齢者(65歳以上) の割合の増加抑制		18.4%(R3)	R8以降調査	16%(R10)
⑨利用者に応じた食事の計画、調理及び栄養の評 価・改善を実施している特定給食施設の割合の増加		71.3%(R3)	68.0%(R5)	75%(R10)

※1 食育セルフチェックより算出

※2 適正体重：BMI18.5以上25未満(65歳以上はBMI20を超え25未満)

モニタリング指標	策定時	現状
①栄養ケア・ステーションの設置数	17ヶ所(R3)	21ヶ所(R6)
②若年女性のやせ対策に取り組む市町数	(今後調査)	8市町(R5)
③減塩・フレイル予防に関して行動・評価指標を設定し取り組む 事業者数	(今後調査)	5事業者(R6)

分野別取組 1 生活習慣病予防等の健康づくり

3 身体活動（運動・生活活動）の増加

目標指標		策定時	現状	目標
①日常生活における歩数の増加	男性	7,405歩(R4)	7,405歩(R6)	7,500歩(R10)
	女性	6,561歩(R4)	5,772歩(R6)	7,100歩(R10)
②運動を継続している人の割合の増加(1回30分以上の運動を週2回以上実施+1年以上継続)		35.4%(R3)	R10調査	40%(R10)
③日常生活のなかで体を動かすことを習慣化している人の割合の増加		36.5%(R3)	R10調査	増加(R10)

※ 歩数の現状値については、県管轄地域のみ（政令・中核市は含まれていない）

分野別取組 1 生活習慣病予防等の健康づくり

4 たばこ（受動喫煙）対策の推進

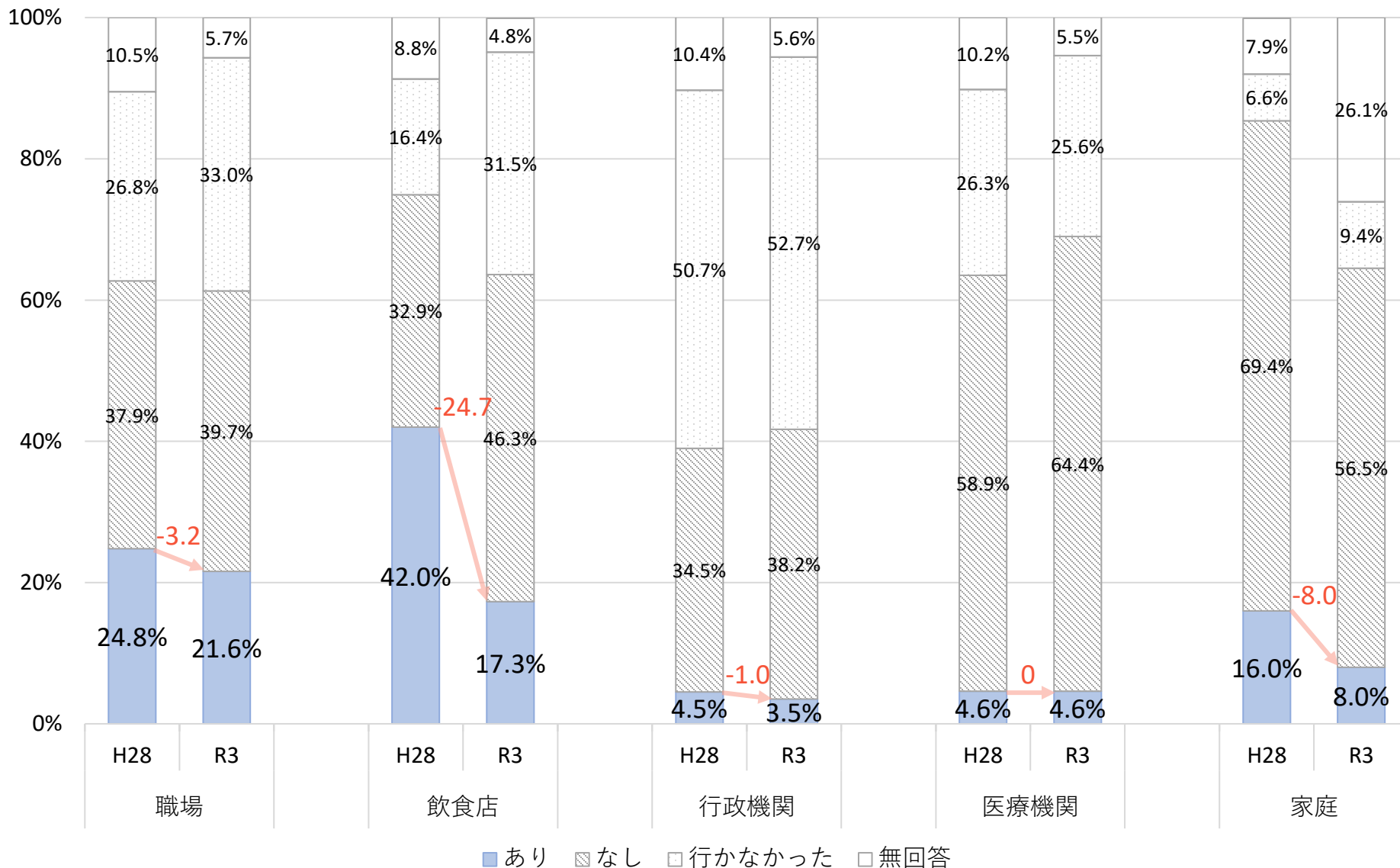
目標指標		策定時	現状	目標
①習慣的に喫煙している人の割合の減少	県全体	12.4%(R3)	R8判明	10%(R10)
	男性	23.7%(R3)	R8判明	19%(R10)
	女性	4.0%(R3)	R8判明	3%(R10)
②受動喫煙の機会を有する者の割合の減少	職場	21.6%(R3)	R8判明	0%(R10)
	飲食店	17.3%(R3)	R8判明	0%(R10)
	行政機関	3.5%(R3)	R8判明	0%(R10)
	医療機関	4.6%(R3)	R8判明	0%(R10)
	家庭	8.0%(R3)	R8判明	3%(R10)
③対象施設における受動喫煙の防止等に関する条例の認知度の増加		64.2%(R5)	R8判明	70%(R8)
④COPD※死亡率の低下		9.0(R3)	9.9(R5)	8.0(R10)

※COPD（慢性閉塞性肺疾患）は肺の炎症性疾患で、咳・痰・息切れを主な症状として緩やかに呼吸障害が進行する疾患です。喫煙が最大のリスク要因となっています。

【参考】受動喫煙の機会を有する者の割合

過去1ヶ月間で1回以上受動喫煙があった者の割合

出典：兵庫県健康づくり実態調査



分野別取組 1 生活習慣病予防等の健康づくり

5 次世代への健康づくり支援

目標指標		策定時	現状	目標
①妊婦の喫煙率の減少		1.6%(R4)	R7判明	0%(R10)
②育児期間中の両親の喫煙率の減少	父親	28.6%(R4)	R7判明	20%(R10)
	母親	4.6%(R4)	R7判明	4%(R10)
③スポーツをする子どもの増加	小学5年生男児	91.7%(R4)	91.7%(R6)	93.7%(R8)
	小学5年生女児	85.9%(R4)	84.6%(R6)	89.7%(R8)
	中学2年生男児	93.2%(R4)	91.2%(R6)	95%(R8)
	中学2年生女児	82.3%(R4)	78.6%(R6)	85.9%(R8)
④20歳未満※の飲酒をなくす		0.9%(R3)	R10調査	0%(R10)
⑤20歳未満※の喫煙をなくす		0%(R3)	R10調査	0%(R10)
⑥20歳未満※の肥満の減少		4.1%(R3)	R10調査	3%(R10)

※20歳未満とは健康づくり実態調査における中1，中3，高3を指します

分野別取組 1 生活習慣病予防等の健康づくり

5 次世代への健康づくり支援

モニタリング指標		策定時	現状
①乳児のSIDS※1による乳児死亡率		3(R4)	2(R5)
②乳児健診等の把握率※2	乳児健診	99.9%(R4)	—
	1歳6ヶ月児健診	99.9%(R4)	—
	3歳児健診	99.9%(R4)	—

※1 SIDS（乳幼児突然死症候群）は、それまでの健康状態及び既往症からその死亡が予測できず、死亡状況調査及び解剖検査によってもその原因が同定されない、原則として1歳未満の児に突然の死をもたらす症候群のことをいいます。

※2 把握困難のため、「乳幼児健康診査の未受診者を把握し支援する体制がある市町数」に変更予定。
(現状41市町)

分野別取組 1 生活習慣病予防等の健康づくり

6 高齢者の健康づくり支援

目標指標	策定時	現状	目標
①低栄養傾向(BMI20以下)の高齢者(65歳以上)の割合の増加抑制(再掲)	18.4%(R3)	R8以降調査	16%(R10)
②住民主体「通いの場」への参加率	9.1%(R3)	10.0%(R4)	11.6%(R8)
③通いの場参加者の要介護度を把握している市町数	9市町(R4)	19市町(R5)	20市町(R8)
④高齢者有業率の増加	37.3%(R4)	R9調査	40%(R9)
⑤ADL維持等加算を算定する介護事業所の割合	9.5%(R4)	12.2%(R5)	26.5%(R8)
⑥在宅復帰・在宅療養支援機能加算Ⅱを算定する施設等の割合	30.3%(R4)	36.8%(R5)	41.4%(R8)

モニタリング指標	策定時	現状
①兵庫県版フレイルチェック(後期高齢者の質問票+兵庫県フレイルチェック版)を行った高齢者数	2,292人 (R3)	13,661人 (R5)
②オーラルフレイル対応歯科医療機関数	249(R5)	今後確認

分野別取組 1 生活習慣病予防等の健康づくり

7 感染症その他の疾病予防

目標指標		策定時	現状	目標
①家庭での感染症予防対策に取り組む人の割合の増加	手洗い	95.1%(R3)	R10調査	95%(R10)
	うがい	64.3%(R3)	R10調査	70%(R10)
②メタボリックシンドロームの該当者の割合の減少(再掲)		15.8%(R3)	15.7%(R4)	12%(R9)
③糖尿病の治療を継続している人の増加(再掲)		68.5%(R3)	R10調査	75%(R10)
④習慣的に喫煙している人の割合の減少(再掲)	男性	23.7%(R3)	R8判明	19%(R10)
	女性	4.0%(R3)	R8判明	3.0%(R10)

モニタリング指標	策定時	現状
①熱中症救急搬送者数	3,301人(R4)	4,821人(R6)

分野別取組 2 歯及び口腔の健康づくり

1 総合的な推進

目標指標	策定時	現状	目標
①過去1年間に歯科健康診査を受診した人の割合の増加(20歳以上)	60.2%(R3)	R10調査	82%(R10)
モニタリング指標		策定時	現状
①過去1年間に歯科診療所で歯石除去や歯面清掃を受けた者の割合		58.8%(R3)	R10調査

2 次世代への支援

目標指標	策定時	現状	目標
①3歳児で4本以上のう歯のある歯を有する者の割合の減少	2.9%(R3)	2.1%(R4)	1.3%(R9)
モニタリング指標		策定時	現状
①妊婦歯科健診、または歯科専門職による相談に取り組む市町数		41市町(R4)	41市町(R6)
②フッ化物応用に取り組む市町数		19市町(R5)	20市町(R6)
③中学生・高校生における歯肉炎を有する者の割合		4.5%(R4)	4.0%(R5)

分野別取組 2 歯及び口腔の健康づくり

3 青年期・成人期の取組

目標指標		策定時	現状	目標
①過去1年間に歯科健康診査を受診した人の割合の増加	20代	45.4%(R3)	R10調査	77%(R10)
	40歳	44.2%(R3)	43.2%(R4)	34%(R9)
②進行した歯周病(歯周炎)を有する者の割合の減少(一部再掲)	50歳	53.9%(R3)	53.8%(R4)	44%(R9)
	モニタリング指標		策定時	現状
①特定健診の質問票から、必要な人に対して歯科受診を勧めている市町数		13市町(R5)	19市町(R6)	

4 高齢期の取組

目標指標		策定時	現状	目標
①口腔機能の維持・向上における咀嚼良好者割合の増加(60歳以上)		65.1%(R3)	R10調査	80%(R10)
モニタリング指標		策定時	現状	
①後期高齢者歯科健診で、口腔機能検査を実施する市町数		35市町(R5)	時期未定	
②80歳で20本以上の歯を有する者の割合		54.6%(R3)	R10調査	

分野別取組 2 歯及び口腔の健康づくり

5 配慮を要する者への支援

目標指標	策定時	現状	目標
①障害者(児)入所施設での過去1年間の歯科健診実施率の増加	64.2%(R3)	R9調査	90%(R10)
②介護老人福祉施設及び介護老人保健施設での過去1年間の歯科健診実施率の増加	31.9%(R3)	R9調査	50%(R10)

モニタリング指標	策定時	現状
①配慮を要する者(※)の歯科相談窓口等の設置、または情報を把握し住民に周知している市町数	(今後調査)	R7調査
②要介護者を支援する各種専門職を対象とした誤嚥性肺炎を予防するための事業(口腔ケア研修会等)を実施している市町数	16市町(R5)	14市町(R6)

※配慮を要する者とは障害者(児)、要介護高齢者、難病患者等を指します

6 歯及び口腔の健康づくりの推進に向けた体制の整備

モニタリング指標	策定時	現状
①歯科衛生士を配置する市町数	18市町(R5)	19市町(R6)
②歯科口腔保健に関する事業を実施する際、PDCAサイクルに沿った評価を行っている市町数	17市町(R5)	22市町(R6)
③災害時における保健活動マニュアルや指針等に歯科に関する項目が記載されている市町数	12市町(R5)	16市町(R6)

分野別取組 3 こころの健康づくり

1 ライフステージに対応した取組

目標指標		策定時	現状	目標
①自殺者数の減少		916人(R3)	995人(R5)	600人(R9)
②眠れないことが頻繁にある人の割合の減少	20歳未満※	4.0%(R3)	R10調査	減少(R10)
	20歳以上	14.7%(R3)	R10調査	減少(R10)
③ストレスを大いに感じる人の割合の減少	20歳未満※	31.2%(R3)	R10調査	減少(R10)
	20歳以上	19.3%(R3)	R10調査	減少(R10)
④悩み・苦労・ストレス・不満などがあつたとき、相談できない人の割合の減少	20歳未満※	12.6%(R3)	R10調査	減少(R10)
	20歳以上	3.1%(R3)	R10調査	減少(R10)
⑤ワーク・ライフ・バランス推進宣言企業数		3,107社(R3)	3,695社(R5)	4,184社(R8)
⑥多量に飲酒する人の割合の減少		3%(R3)	R10調査	減少(R10)
⑦住民主体の「通いの場」への参加率(再掲)		9.1%(R3)	10.0%(R4)	11.6%(R8)
⑧通いの場参加者の要介護度を把握している市町数(再掲)		9市町(R4)	19市町(R5)	20市町(R8)

※20歳未満とは健康づくり実態調査における中1，中3，高3を指します

分野別取組 3 こころの健康づくり

1 ライフステージに対応した取組

モニタリング指標	策定時	現状
①労働安全衛生法に基づくストレスチェック実施率	81.0%(R2)	今後確認
②精神障害の労災認定数※	91件(R4)	112件(R5)
③睡眠時間が6～9時間の者の割合	54.8%(R3)	R10調査

※労災補償の業務上又は業務外の決定を行った件数

分野別取組 3 こころの健康づくり

2 認知症施策の推進

目標指標	策定時	現状	目標
①チームオレンジのネットワーク構築市町数の増加	16市町(R4)	22市町(R5)	41市町(R10)

モニタリング指標	策定時	現状
①認知症予防健診等早期受診を促進するしくみづくりに取組む市町数	14市町(R4)	41市町(R5)
②認知症施策推進会議等へ認知症の人本人が参画する市町数	5市町(R4)	3市町(R5)

3 精神障害者への支援

モニタリング指標	策定時	現状	
①長期在院者数(1年以上)	65歳以上	3,550人(R4)	3,476人(R5)
	65歳未満	2,122人(R4)	2,052人(R5)

分野別取組 4 健康危機事案への対応

モニタリング指標	策定時	現状
災害時保健指導マニュアル策定市町数	21市町(R3)	21市町(R4)
災害に備え、非常食等を備蓄している世帯の割合	73.4%(R3)	46.2%(R5)※
学校給食を原因とする食中毒の年間事件数	0件(R3)	0件(R5)
大量調理施設を原因とする食中毒の年間事件数	0件(R3)	0件(R5)
家庭における自然毒による食中毒の年間事件数	0件(R3)	1件(R5)
家庭での感染症予防対策に取り組む人の割合	89.3%(R3)	R10調査

※ 食育セルフチェックより算出